



画像：川西市 HP より

加茂遺跡 講演会 帰ってきた 加茂の銅鐸

弥生時代の祭祀に使われたとされる銅鐸。吊り下げて音を鳴らしていたと考えられ多くは高さ 30 cm ほどだが、栄根銅鐸は 114 cm もある。

明治 44 (1911) 年に加茂遺跡東側崖下 (加茂 1 丁目) で発土したが当時の地名が栄根字井坂という地名であったため栄根銅鐸と呼ばれている。

関西万博と時期を合わせ兵庫県立考古博物館に帰ってきていた加茂の銅鐸についてじっくりと話を伺う。

R7 9/13 (土)

午後 1 : 30 ~ 2 : 30 頃

◆講師：岡野 慶隆氏 (元川西市教育委員会文化財専門職員)

◆場所：加茂ふれあい会館 集会室

◆申込：不要 直接会場にお越しください

◆対象：地域住民の方・加茂遺跡クラブ員・興味のある方どなたでも

問合先：  加茂小コミュニティ協議会 加茂遺跡クラブ
(加茂ふれあい会館内)

TEL/FAX 072-757-0210 E-mail kamokomi@jttk.zaq.ne.jp